

4分割ピット式鋼板製消化タンク

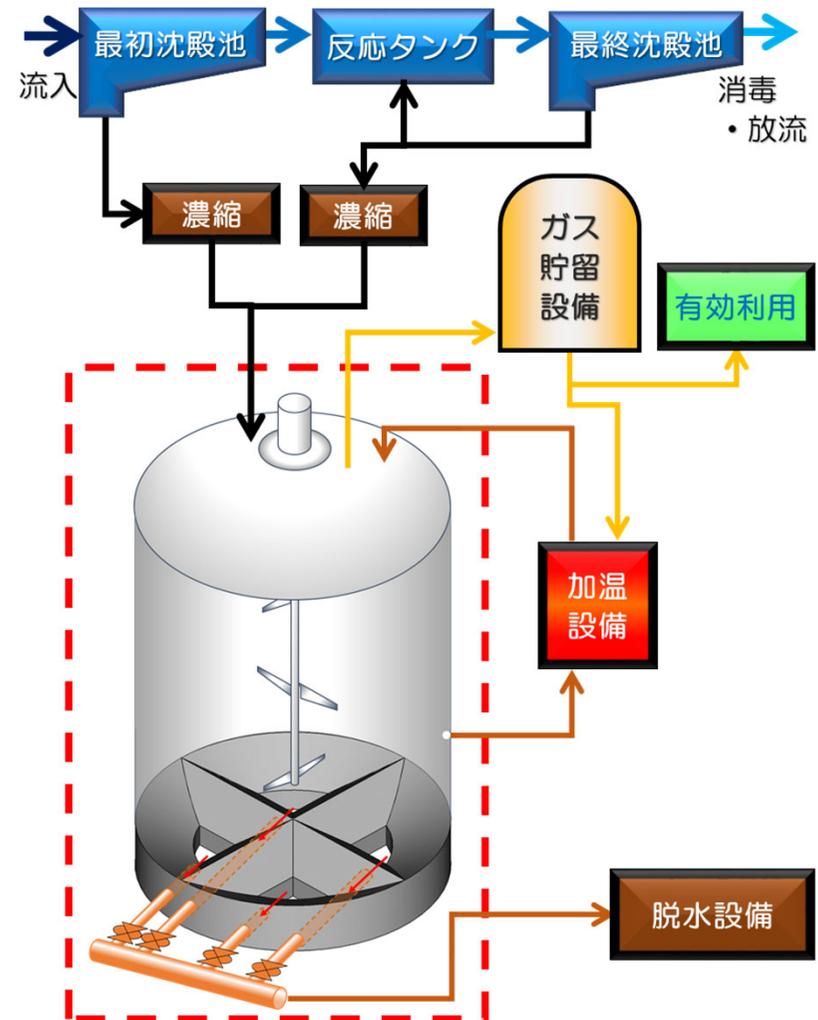
【技術の概要】

本技術は、**鋼板製消化タンク**と**低動力型攪拌機**を組み合わせたものである

消化タンク底部には**4分割ピット構造**を採用し、消化汚泥の引抜きに合わせ、底部から堆積物を積極的に引抜くことで、消化タンク内部の**堆積物を抑制**することが可能な技術である

【適用条件】

- 対象汚泥……下水汚泥(初沈、余剰)
- 投入汚泥性状…TS 6%以下
- 施設規模……1,000~9,000m³/基
- 消化条件……中温消化
- その他
気温条件により保温材厚、沿岸部では塩害対応等を検討する



本技術範囲：4分割ピット式鋼板製消化タンク

【技術の特徴・導入効果】

■鋼板製消化タンクの採用

- タンク本体の工場製作と基礎部の現地工事の並行作業が可能で**工期短縮** & **導入コスト低減**
- 温度センサー・のぞき窓等の**柔軟な設置が可能**
- 内部の防食は気相部D種、液相部A種※を実施
※JS防食技術マニュアル(定期点検・補修10年毎)

■4分割ピット構造の採用

消化タンク底部を4分割し、それぞれに傾斜部・ピット・引抜管および切替弁を配置した

「**4分割ピット構造**」を採用

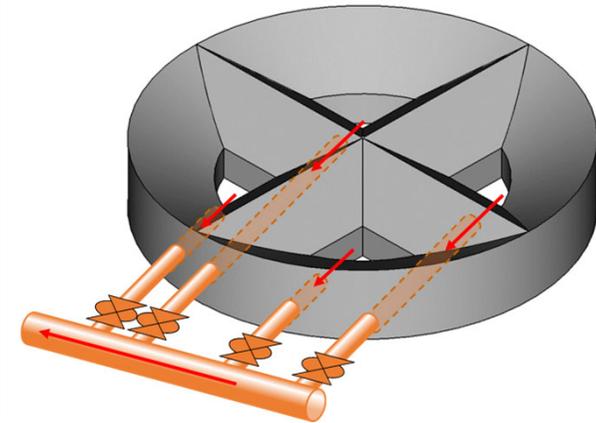
消化汚泥の引抜きに合わせ、底部から堆積物を積極的に引抜く機能を実現した

- 消化タンク内部の**堆積物を抑制**
- 浚渫費用の低減**が期待できる

■低動力型攪拌機の採用

- 低動力の**インペラ式攪拌機**を採用し、**温度差安定制御**により攪拌速度を調整することで**省エネルギー化**を実現

【4分割ピット構造】



【温度差安定制御】

